

公共政策プログラム科学技術イノベーション政策コース

コースの目的

本コースは、科学技術イノベーション政策に関する学問的ならびに実務的専門知識に沿って、科学的アプローチを用いて、科学技術イノベーション政策や戦略の企画・立案・実行、評価、修正の実務をおこなうことができる専門職業人や、将来、博士課程に進学するなどして科学技術イノベーション政策に関する研究者になることを目指す者の育成を行います。知識が経済・社会の発展に大きな影響を及ぼす知識基盤社会においては、科学知識の発展のためだけでなく、新産業創出や SDGs に代表される社会課題の解決のためにも科学技術イノベーション政策の役割は急速に高まっております。また、デジタル化の時代において研究開発やイノベーションの方法論も変化し、その政策やマネジメントのあり方の理解も必要となっています。本コースでは、政府、地方自治体、大学、公的機関、ならびに企業において、科学的アプローチを用いて効果的な科学技術イノベーション政策(科学政策、産業技術政策、イノベーション政策、環境政策、エネルギー政策などを含む)の立案、デザインの実務を行える専門職業人の育成や、将来、博士課程等に進学し、大学や公的研究所等において科学技術イノベーション政策に関する研究ならびに教育を行うことを目指す者の育成を行います。

ディプロマ・ポリシー

科学技術イノベーション政策コースで、学生が身に付けるべき資質・能力の目標は次の通りです：

- ① 科学技術イノベーションとその政策に関する学術的知識を有し、それらを政策課題に対して応用することができる能力
- ② 公共政策に係る知識を持ち、それらの文脈の中で科学技術イノベーション政策をとらえ、分析ができる能力
- ③ 科学技術イノベーション政策の課題を対象に、科学的アプローチに基づき、問題を設定し、仮説を構築し、定量的・定性的データ等を活用して分析を行い、それらを政策提言としてまとめ、政策形成者に対して示しコミュニケーションできる能力
- ④ 科学技術イノベーション政策の形成や実施の実務に関する理解を有し、理論と実務を架橋した実践的な政策提言ができる能力
- ⑤ グローバル社会において異なる価値観や制度を尊重し、その中で科学技術イノベーション政策を理解してコミュニケーションする姿勢を持ち、リーダーおよびフォロワーとしての役割を自覚して活躍できる能力

カリキュラム・ポリシー

【コース指定科目】

選択科目におけるコース指定科目では、科学技術イノベーション政策の概論、イノベーション論、大学論や産学連携、科学技術外交や途上国における科学技術イノベーション政策、評価・指標等の方法論、環境政策やエネルギー政策等、科学技術イノベーション政策に係る基礎的科目を提供します。

【研究指導】

授業とは別に「履修・研究計画書」における研究指導計画に基づいて、指導教員が定期的に研究指導を行います。

アドミッション・ポリシー

求める学生像

本コースでは、科学技術イノベーション政策に携わる国内外の中央省庁・地方自治体の行政官や関連機関の職員、大学・研究機関・ファンディングエージェンシー・民間機関等において科学技術イノベーションに関する企画立案や運営に係る職員、ならびに、将来、博士課程に進学し、大学や研究機関等における当分野における研究職・教育職に就くことを志望する者で、当分野での専門知識を学び、科学的根拠に基づく政策立案や学術的な研究成果の発表を行うことを目指す意欲のある者を受け入れます。

入学前には、大学学部入学程度の数学、及びアカデミックな英語力に関する基礎的な知識を習得していることが望ましいです。社会人は関連分野での実務経験を3年以上有することが望ましいです。

審査方法及び審査基準

【第1次審査】

出願書類に基づく審査を行います。

審査は、これまでの職務経験、推薦者2名による評価内容、大学(学部)の学位と勉強内容及び成績、研究計画の独創性及び現実的な政策課題との関連性、問題意識の具体性等の観点から、総合的に判断し、選考します。

【第2次審査】

第1次審査の合格者に対してオンラインで面接を行います。書類選考で必要と判断された者には課題提出を課す場合があります。

面接では、設問に対する応募者の回答内容の論理性、的確性を確認し、更に研究課題への目的意識、学習意欲、修了後のキャリアプランの明確さ等を審査基準として選考します。

カリキュラムマップ：公共政策プログラム科学技術イノベーション政策コース

ディプロマポリシー① ディプロマポリシー② ディプロマポリシー③ ディプロマポリシー④ ディプロマポリシー⑤

区分	科目番号	科目名	① 科学技術イノベーションとその政策に関する学術的知識を有し、それらを政策課題に対して応用することができる能力	② 公共政策に係る知識を持ち、それらの文脈の中で科学技術イノベーション政策をとらえ、分析ができる能力	③ 科学技術イノベーション政策の課題を対象に、科学的アプローチに基づき、問題を設定し、仮説を構築し、定量的・定性的データ等を活用して分析を行い、それらを政策提言としてまとめ、政策形成者に対して示しコミュニケーションできる能力	④ 科学技術イノベーション政策の形成や実施の実務に関する理解を有し、理論と実務を架橋した実践的な政策提言ができる能力	⑤ グローバル社会において異なる価値観や制度を尊重し、その中で科学技術イノベーション政策を理解してコミュニケーションする姿勢を持ち、リーダーおよびフォロワーとしての役割を自覚して活躍できる能力
区分I 必修科目	PPP400J	政策論文演習	○		◎	◎	○
区分II 選択必修科目	ECO100J	ミクロ経済学 I			◎		
	ECO105J	マクロ経済学			◎		
	ECO270J	計量経済学			◎		
	ECO271J	費用便益分析			◎		
	GOV210J	政策過程論			◎		
	GOV252J	行政の改革・革新と政策評価			◎		
	GEN502E	The World and the SDGs			◎	○	○
	GEN503J	GRIPS Forum I			○		◎
	GEN504J	GRIPS Forum II			○		◎
	IPR102J	民法の基礎			◎		
	MOR103J	データサイエンス基礎			◎	○	
	MOR110J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 I			◎	◎	
	MOR200J	計画と評価の数理			◎	○	
	MOR202J	実践データサイエンス			◎	○	
	MOR210J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 II				◎	
	PAD310J	EBPM概論				◎	
	REG120J	行政法の基礎			◎		
(コース 指定科目)	STI106J	科学技術イノベーション政策概論	◎	△	△	△	△
	STI107J	公的機関からのイノベーション創出	◎	△	△	△	△
	STI110J	イノベーションと経済学	△	◎	△		
	STI202J	科学技術イノベーション政策史	◎	△	△	△	△
	STI222J	科学技術イノベーション政策と評価	◎	△	△	△	△
	DEV214J	景観・デザイン論	○				
	DEV215J	都市学の理論と実践	○				
	DEV216J	社会基盤整備のPPP/PFI	○				
	DEV218J	水圏国土学	○				
	DRM205J	気象と災害		○			
区分III 選択科目	DRM301J	災害対策各論 II		○			
	ECO200J	ミクロ経済学 II		○			
	ECO202J	政府と市場		○			
	ECO260J	経済政策の理論と展開		○			
	ECO290J	ゲーム理論		○			
	ECO310J	日本経済の現状と課題		○			
	ECO333J	都市政策の空間分析		○			
	ECO344J	世界経済の見方: 国際的政策協調の中で		○			
	ECO362J	構造変化の下での財政金融政策		○			
	ECO375J	経済シミュレーション分析		○			
	GOV211J	日本政治と理論分析		○			
	GOV350J	経済社会統計の整備と課題: 国際的整備の潮流と日本の対応		○			
	GOV610J	政策過程論特別演習		○			
	PAD204J	中小企業経営と地域経済		○			
	PAD311J	都市政策演習		○			
	MOR301J	数理モデル分析演習		○			
	REG231J	地方自治と行政学		○			
		上記以外の授業科目		○			
区分X その他		プロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目					

◎特に強く関係する、○関係する、△一部関係する